

ものづくりのための 「デザイン思考」 講座

Design Thinking

講師

ものづくり大学
情報メカトロニクス学科
教養教育センター

町田由徳 准教授

ものづくり大学 情報メカトロニクス学科・教養教育センター 准教授
東京造形大学 造形学部 デザイン学科卒業、tripod design (株)、
岡崎女子短期大学 准教授等を経て2020年より現職。
専門分野：プロダクト・デザイン、デザイン・マネジメント
所属学会：日本デザイン学会、日本設計工学会、日本ビジネス実務学会
担当授業：「デザイン思考」、「ユーザ工学」他
【研究実績・業績】
●ユニバーサル・デザインの思想に基づいた製品デザイン開発
●子どもや保育者にとっての安全性、快適性を重視した製品、空間デザインの研究
●中小企業、自治体との協働による製品デザイン、ブランディングの支援
【受賞歴】
●日本ビジネス実務学会プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞他

ユーザーの潜在的ニーズ発見や、製品・サービス開発における非連続的なイノベーションの創出を目的として「デザイン思考 (Design Thinking)」による課題解決プロセスの導入が、大企業を中心として昨今のトレンドとなっています。

しかし、製品やサービスに対するユーザーニーズや開発課題は業界や業種ごとに異なり、定型の課題解決策を当てはめるだけでは、有効な課題解決に繋がらないケースも多く見られます。そこで本講座では、特に「ものづくり」に関わる企業での適用を前提として「デザイン思考」が求められる歴史的、市場的背景について解説し「ものづくりのためのデザイン思考」として製造業の現場における課題解決力や、イノベーション創出力を備えた人材の育成を目指します。

2023年度 ものづくり大学社会人教育プログラム

期間 2023年6～7月【全3回】

時間 17:30～18:30 (60分)

対象 新規製品開発や「デザイン思考」に興味を持つ
エンジニア、企画担当者

形態 オンライン研修

料金 一般 10,000円 (税込) / 本学OB 8,000円 (税込)

定員 50名

第1回

6/19 (月) 17:30～18:30
(60分)

なぜ今「デザイン思考」か？：
日本の製造業においてデザイン思考が
求められる歴史的、社会的背景について

第2回

6/26 (月) 17:30～18:30
(60分)

ものづくりにおけるイノベーションの形態：
漸進的イノベーションと
急進的イノベーションについて

第3回

7/3 (月) 17:30～18:30
(60分)

デザイン思考を取り入れた、
開発プロセスの実践について

受講までの流れ

受講申込み

下記メールアドレスよりお申込みください。

open-edu@iot.ac.jp

募集期間 2023年4月1日～6月5日

受講料お支払い

確認メールで指定された口座に、1週間以内に受講料をお振込みください。

(恐れ入りますが振込手数料はご負担願います。)

ご入金確認後1週間以内に、担当者よりメールにてご連絡いたします。

受講者ID等の送付

受講開始1週間前までに、受講時に必要なID・パスワードの通知書等を、メールにて送付いたします。

◆お申込み1名様に対して、1IDを提供しております。講師の著作権保護の観点から、IDの共用や録画での利用など、お申込み者以外の方のご利用はお断りしております。

問い合わせ
お申込み

ものづくり大学 ものづくり研究情報センター

埼玉県行田市前谷 333 番地 TEL:048-564-3880 FAX:048-564-3881

http://www.iot.ac.jp E-mail:open-edu@iot.ac.jp



ものづくり大学

社会人教育プログラム

受講者募集

